

Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency

CASBEE札幌



重点項目 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE_Sapporo2014v1.2

■使用評価ソフト: CASBEE札幌2014(ver.1.3)

1 建物概要					
建物名称	DCMホームマック旭ヶ丘店	BEE	1.1	BEEランク	B ⁺
建物用途	物販店	総合評価 ★★★★★			
延床面積	11,992.00 m ²				

2 重点項目への取り組み		レーダーチャート
地球温暖化対策	最重点項目 省エネルギー ★★★★★	<p>この建物は特に 緑化への取組 が優れています</p>
	省資源等 ★★★★★	
	緑化 ★★★★★	
	雪処理 ★★★★★	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEスコア					
A 省エネルギー				合計 16点 / 24点	
Q1 温熱環境	スコア 0.0	LR1 建物外皮の熱負荷抑制	スコア 2.0		
Q1 光・視環境	スコア 3.0	LR1 自然エネルギー利用	スコア 1.0		
		LR1 設備システムの高効率化	スコア 8.0		
		LR1 効率的運用	スコア 2.0		
B 省資源等				合計 15点 / 23点	
Q2 耐用性・信頼性	スコア 1.0	LR2 非再生性資源の使用量削減	スコア 5.0		
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0	LR2 汚染物質含有材料の使用回避	スコア 1.0		
		LR3 地球温暖化への配慮	スコア 5.0		
		LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		
C 緑化				合計 10点 / 16点	
Q3 生物環境の保全と創出	スコア 3.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 1.0		
Q3 まちなみ・景観への配慮	スコア 5.0				
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 1.0				
D 雪処理				合計 2点 / 3点	
Q3 地域性・アメニティへの配慮	スコア 0.0	LR3 地域環境への配慮	スコア 2.0		

4 設計上の配慮事項		
A 省エネルギー		
北側に無駄な窓を設置しない。		
B 省資源等	C 緑化	D 雪処理
断熱を考慮し、省資源に努めた	札幌市で定める基準以上の緑化を実施した。	要所要所にロードヒーティングを施工した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される